

第11回全日本企業対抗ゴルフトーナメント 『じゃらんゴルフ CUP』 ダブルス 2015

大会ルール

～全予選・全国決勝大会共通～

1. ゴルフ規則
日本ゴルフ協会（JGA）ゴルフ規則及び大会ローカルルールを適用する。
2. 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について競技委員会の裁定を最終とする。
3. 使用球についての規格及び規則
本競技ではワンボール条件は適用しない。
4. 移動
各競技者はラウンド中に乗用カートへ乗車することができる。
（乗用カートを設置していないコースは除く。）
5. ホールとホールの間での練習禁止
ホールとホールの間では、競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上や、その近くではどのような練習ストロークもしてはならない。
この条件の違反の罰は、次のホールに2打課せられ最終ホールにおいてはそのホールに2打課せられる。
（前半と後半のインターバル時での指定練習グリーンでのパッティング練習を除く）
6. 陰悪な気象条件・日没などのため競技が短縮競技となった場合の順位決定
■全チームが9ホールズを消化している場合→短縮競技成立
■全チームが9ホールズを消化していない場合→競技不成立
本競技が短縮競技として成立した場合、9ホールズの合計スコアで順位を決める。
タイスコアの場合は9番・18番ホールからのカウントバックにて決する。
※Outスタート、Inスタートそれぞれの順位を決める（優勝チームが2チームになる）
7. アドバイス
プレーヤーは同じチーム内のパートナー及びキャディからアドバイスを受けることができる。
なお他のチームのプレーヤーにアドバイスを与えたり、アドバイスを求めたりした場合にはJGAゴルフ規則第8条によりそのホール2罰打を付加する。
8. 第2の球をプレーする場合の処置
疑問のある場合、1ホールのプレー中に競技者が自分の権利やとるべき処置について問題をもった場合、その競技者は罰なしに第2の球をプレーすることができる。
第2の球を打つ行動を起こす前に競技者は規則により許されれば、その球でのスコアを採用したいと思う球をマーカーに告げておくこと。
どちらの球のスコアも同じであった場合を除き、競技者はスコアカードを提出する前にその事実を報告しなければならない。
※ 第2の球の処置をした場合は2つのスコアを記入し、スコアカード提出時に競技委員会の裁定をおおぐこと。
9. 空き時間の練習について
ハーフ終了時の空き時間において、練習グリーンでのパッティング練習は行っても構わない。

10. メンバー変更について
出場メンバーは最初の予選出場時のメンバーから大会全体を通して1名までの変更が可能。
11. クラブに関しては、JGA附属規則Ⅱの4c(i)のペンデュラムテストプロトコル(R&A内規)の上限を超えるスプリング効果をもつクラブヘッド(いわゆる高反発クラブ)の使用を禁止する。
※ 「クラブフェースの溝に関連する新しい規則」については本大会では採用しない。
12. 距離計測やホールレイアウトの確認
プレーヤーは距離計測やホールレイアウトを確認する目的でGPS式、レーザー式、音声式の距離計測器やコースナビゲーションなどを使用することができる。
※ スタート説明時など、ラウンド前にマーカークの選手に機器の使用を告げてください。(音声で伝えるシステムの機器は同伴者のプレーの妨げ、迷惑とならないように注意してください。)
- 12-a. 上記の機器を使用して得た情報の交換はアドバイスとはならない。
12-b. 使用する際にプレーを不当に遅延してはならない。
12-c. プレーヤーのプレーに影響する可能性のある他の条件(傾斜、高低差、風速 など)を計測する機能が付属されている距離計測器を使用してはならない。
・ 携帯電話、スマートホンの使用は可。但し、傾斜を測定する機能は使用不可である。
・ 高低差表示機能を有する機器は高低差を表示しない設定での使用は可能である。
- ※ このローカルルールにおいて2-bの違反した場合下記の通りとなる。
・ 初回の違反 : 1 罰打
・ 2回目の違反 : 2 罰打
・ 3回以上の違反があった場合は競技失格とする。
- ※ 12-cの違反があった場合は競技失格とする。
※ (規則14-3及び附属規則Ⅳに基づく)
13. 特設ティ、ドロップエリアの使用について
13-a. 特設ティでは指定区域内に球をドロップしてプレー再開するものとする。
※ このローカルルール(13-a)の違反は2 罰打とする。
※ 特設ティの使用は各ゴルフ場のローカルルールで定める。
14. コールオン(後続組先打たせ)方式について
採用しない。
15. スロープレーに関する罰則
不当にプレーが遅い場合やマーシャルの警告後改善が見られない場合は当該組全員が2打罰を負う。
16. タイスコア時の決勝方法
OutスタートInスタートに関わらず18Hからの「カウントバック方式」によって決定する。
それでも勝敗が決しない場合は同順位とする。

ゴルフ場ローカル・ルールス
(日本カントリークラブ)

- 1、ラテラル・ウォータハザードは赤杭又は線修理地は青杭又は白線。アウトオブ・バウンズは白杭をもって標示する。現にプレーしているホールの白杭を超えて隣のホールに入った球は全て OB とする。
(#4⇔#7、#7⇔#8、#10⇔#11、#12⇔#18、#13⇔#15、#16⇔#17、#17⇔#18)
- 2、樹木の巻物施設はコースと不可分の部分とする。巻物施設はもはや「障害物」ではないので、意図するスイング区域、スタンスなどに対して障害が生じても救済を受けることはできない。また、その巻物施設に球が挟まった場合、罰なしに救済を受けることはできず、打てないのであればアンプレヤブルの処置(規則 28)をとることになる。
- 3、特定地域の境界を示す杭及びホールまでの距離を示す杭は「動かせない障害物」である。
- 4、
 - (1) 予備グリーン及び目的外のグリーンに球が乗り、又はスタンスがかかるときは、ホールに近づかず、ハザード外およびグリーン外の場所で、球の止まっている場所に最も近い箇所に最も近い地点をコース上に決定したのち、罰なしに球を拾い上げて、その地点から1クラブレンジ以内にドロップしなければならない。(拾い上げた球は吹くことができる)
 - (2) 本項の予備グリーン及び目的外のグリーンは、その周辺の所謂カラーを含むものとする。
- 5、スルー・ザ・グリーンにおいて、自己の球がその勢いで作った穴にくい込んでいるときは、罰なしに拾い上げ、球の止まっている箇所にできるだけ近く、かつホールに近づかない箇所にドロップすることができる。(拾い上げた球は拭くことができる)(グリーンにはドロップできない)
- 6、ラウンド中、プレーを終わったホールのグリーン上やその近くで練習ストロークを行ってはならない。そのホールに2打付加。

臨時ローカル・ルールス

- 1、4番・7番・12番・17番ホールにおいて第1打がOBの時は前方特設ティより第4打としてプレーしなければならない。
- 2、5番と6番の各ホールの縞杭を超えた球は縞杭の境界線を最後に超えた地点で縞杭の線より2クラブレンジ内にドロップしなければならない。縞杭を超えた球を探さなくても、プレーヤーは別の球をイン・プレーにすることができる。罰打は何れの場合も1打付加。

HOLE	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out
PAR	5	4	5	4	4	3	4	3	4	36
LADIES	517	381	489	195	315	177	210	125	349	2,758
MEN	517	381	510	335	421	177	342	125	444	3,252
HOLE	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In
PAR	4	3	5	4	4	4	3	5	4	36
LADIES	369	137	442	245	284	318	105	452	381	2,733
MEN	369	170	526	407	284	318	179	528	381	3,162

A グリーン レギュラーティ相当

大会ルールス 追加

バンカー内の排水溝は動かさない障害物とし、救済を受けることができる。罰なしに拾い上げ、球の止まっている箇所にてできるだけ近く、かつホールに近づかない箇所にプレイスすることができる。

以上

平成26年11月19日
全日本企業対抗ゴルフトーナメント
競技委員会